

1. 本時の目的

仮説の設定方法と適切な研究方法について理解を深める。

2. 仮説の設定方法について

仮説とは

問い合わせに対して計画を建てずに実験や調査をおこなった場合、時間と労力が多大にかかる。

それを防ぐために、仮説を設定する。

仮説とは、問い合わせに対する結果や結論の予想のことであり、研究はその予想を検証することを中心進められる。

仮説のポイント

- ・先行研究や先行事例を踏まえた仮説を設定すること。

先行研究や先行事例をより理解すること、日々の情報収集を続けることが重要である。

これらが不十分で、自分の考えだけで仮説を設定すると、適切な仮説を設定することができない。

- ・複数の仮説を設定すること。

複数の仮説を設定することで、問い合わせに対して多面的に実験・調査を行うことができる。

- ・仮説を検証する方法を考えること。

問い合わせを分解することで、それぞれに対してどのような情報があれば答えられるのかを把握できる。これによって、実験・調査の見通しを立てやすくなる。

以前実施した“問い合わせの種類について”を基にして問い合わせを分解する。

①言葉の意味や定義を問う

②原因を問う

③信憑性を問う

④比較を行う

⑤先行研究や先行事例を問う

⑥影響を問う

⑦方法や関連性を問う

仮説とは、実験・調査の前に設定するだけではない。

実験・調査前に複数の仮説を立てるとともに、検証を進めるなかで得られた結果から新たな仮説が見つかる事がある。

また、新たな仮説を検証していくことで問い合わせがさらに具体的になり、研究が深まる。

問い合わせ	
仮説①	仮説②
仮説の根拠	仮説の根拠
分解した問い合わせや仮説の検証方法①	分解した問い合わせや仮説の検証方法①

- ・問い合わせに対して根拠となる内容を確認した上で仮説を複数設定してみましょう。 - 15分
- ・設定した仮説とその根拠について班などで共有してみましょう。 - 1人2分程度
- ・仮説に対する検証方法を問い合わせの分析などを通して各4つ程度考えてみましょう。 - 15分
- ・検証方法について班などで共有し、適切かどうかなどを考えてみましょう。 - 1人2分程度